

十日夜のワラデッポウを作ろう

とうかんや

日 時 2025年11月
22日

十日夜（とうかんや：畑や田圃を荒らす虫やモグラを追い払う子どもたちの行事）
とそれにまつわるお話や、紙芝居を見よう。

ワラデッポウを作って、見沼自然公園や萩原さんの畑へ出かけ、地面をたたきながら歩きます。
夜の見沼の自然を見つけましょう。

15:30～17:00 ワラデッポウ作り
「とうかんやのおはなし」

紙芝居実演

17:00～19:00 虫おい、モグラたたきに出かける。
見沼自然公園内と萩原さんの畠へ。

十日夜(とうかんや)伝統の今年の新米で作った
“ぼたもち”と伝統食の夕飯を、
みんなで食べます。

講 師 中平 順子（子ども文化研究家）

協 力 萩原 さとみ



日時：2025年11月22日（土） 15時30分～
19時

雨天 順延 翌日11月23日（日）15時

30～19時

場所：さぎ山記念公園・さぎ山記念館 1階(受付：15時)
(さいたま市緑区南部辻)

参加費：大人 3500円 子ども 1700円 ※夕食・保険料込み
定 員：30名 先着順 申し込み：10月 15 日～11月 15 日
連絡先：電話 090-8963-2302

メール ynakahira@jcom.home.ne.jp

十日夜(とうかんや)について

別名亥の子の節供。（モグラたたき・虫追いの行事）
旧暦10月10日、現在の11月10日に行う。
関東地方に広くある畠作行事。
「案山子祭り、案山子上げ」ともいう。
ワラデッポウの音を聞いて、大根は育つという。
田の刈り上げ祝いであり、案山子（田の神）送りの祭り。
農耕儀礼で、米より古い穀や稗、イモ類の収穫祝。
牡丹餅はこの晴れの日のためにつくる料理。

わらべうた
♪ とうかんや とおかんや
とうかんやの ワラデッポウ
ごほうびぼたもち もってこーい

大根、豆柄などを、庭先の案山子に供え
(ふたまた大根など)

主催：さいたま子ども文化研究所

協力：ファーム in さぎやま
野良の芸術